

農家・集出荷場と障害福祉サービス事業所との農福連携のマッチングをい、双方のパイプ役として、作業内容や労働条件の確認、日程調整、作業指導などの支援を行う。

## 基本情報

- 所在地：石川県金沢市
- 団体名：金沢市農業協同組合
- 選定表彰：-
- 主力商品：水稻・野菜



JA担当者と農家の打合せ



野菜の荷受け作業

## 取組の概要

○JA金沢市管内の農家やJA野菜集出荷場と障害福祉サービス事業所に農福連携のメリットを説明し、マッチングを図る。

○マッチングにあたり、事前に農家や集出荷場での作業内容と、障害者が行うことができる作業内容、労働条件等を確認し、連携できる相手を選定する。

○障害者の主な作業としては、水稻の田植えの際の肥料・苗運搬、育苗箱洗浄、収穫された野菜の集荷の手伝い、洗浄・計量・選果・袋詰めなどを行っている。

○マッチング後は、双方の作業日程・人数の調整、障害者が作業を覚えるための作業マニュアル（写真入り）作成、現場での作業説明等を行い、継続的な連携に向け支援を行う。

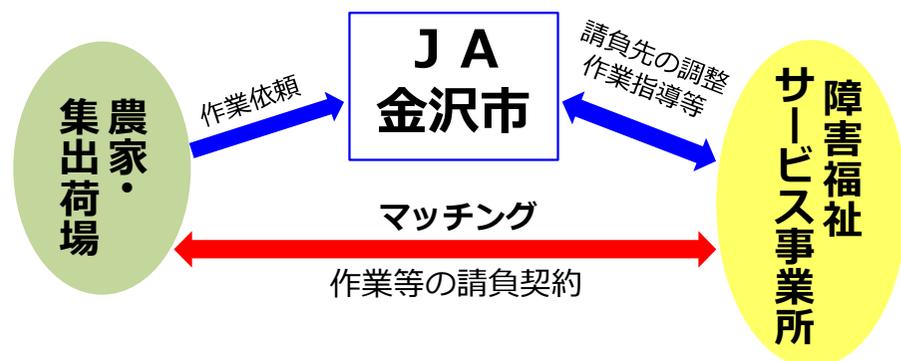


田植えでの苗箱渡し作業



野菜集出荷場での作業

## 体制図



## 取組の成果

- マッチング数の増加（平成30年度1件 → 令和5年度20件）。
- 農家や集出荷場の繁忙期に、まとまった労働力の確保が可能。
- 障害福祉サービス事業所の年間を通じた労働の確保及び工賃アップ。
- 障害者に多様な作業を紹介することで、労働意欲増進。
- 連携のメリットを双方が実感することによる、地域における農福連携の取組の定着。
- 訪問先農家やJA広報誌で取組を紹介することで、他の農家に波及。

所在地 ▶ 石川県金沢市松寺町末59番地1

連絡先 ▶ TEL:076-237-0250

ウェブサイト ▶ <https://www.ja-kanazawashi.or.jp/>

# 【取組のプロセス】

平成30年

農福連携の担当室を  
設置

農家と障害福祉施設との  
連携スタート

野菜集出荷場との  
連携スタート

農福連携の取組を  
広報誌で紹介

JA内で、農福連携の  
課題についての  
研修を開催

令和2年

令和3年

今後の  
展望

## きっかけ

- 農家や集出荷場の労働力不足を補うために、JAが障害福祉サービス事業所との連携を試みる。

### JAに農福連携の担当室を設置

- 労働力不足の問題を抱える農家に、農福連携を提案。
- 障害者福祉サービス事業所に、農家への利用者派遣を提案。
- 農福連携に向け、双方の要望・条件等を確認し、利用者派遣の契約を進める。

### JA管内で連携が進む

- 農家の繁忙期に、障害者福祉サービス事業所からの利用者派遣を調整。
- 初回の派遣においては、JAが作業指導を行う。
- 農作業を習得した障害者が増加し、1日当たりの派遣者数が拡大。
- 野菜集出荷場との連携を始めたことで、作業内容、作業時間が増加。

### 農福連携をJA内外に波及

- JA主催の農福連携事業利用の提案を行い、農家、障害福祉サービス事業所やJA職員の学習を深める。
- 訪問先農家やJA広報誌で取組を紹介することで、他の農家に波及。

### 幅広い農福連携を求めて

- 双方がメリットを感じることでできる農福連携を実現し、継続的な連携を目指す。
- 農福連携のメリットを地域に広める。今後、特に障害者福祉サービス事業所側の連携相手を拡大していき、マッチング機会の増加を図る。



白菜収穫指導と作業



白菜選別指導



水稲苗箱洗い作業



農福連携利用計画